

【平成23年度 公共事業評価委員会】

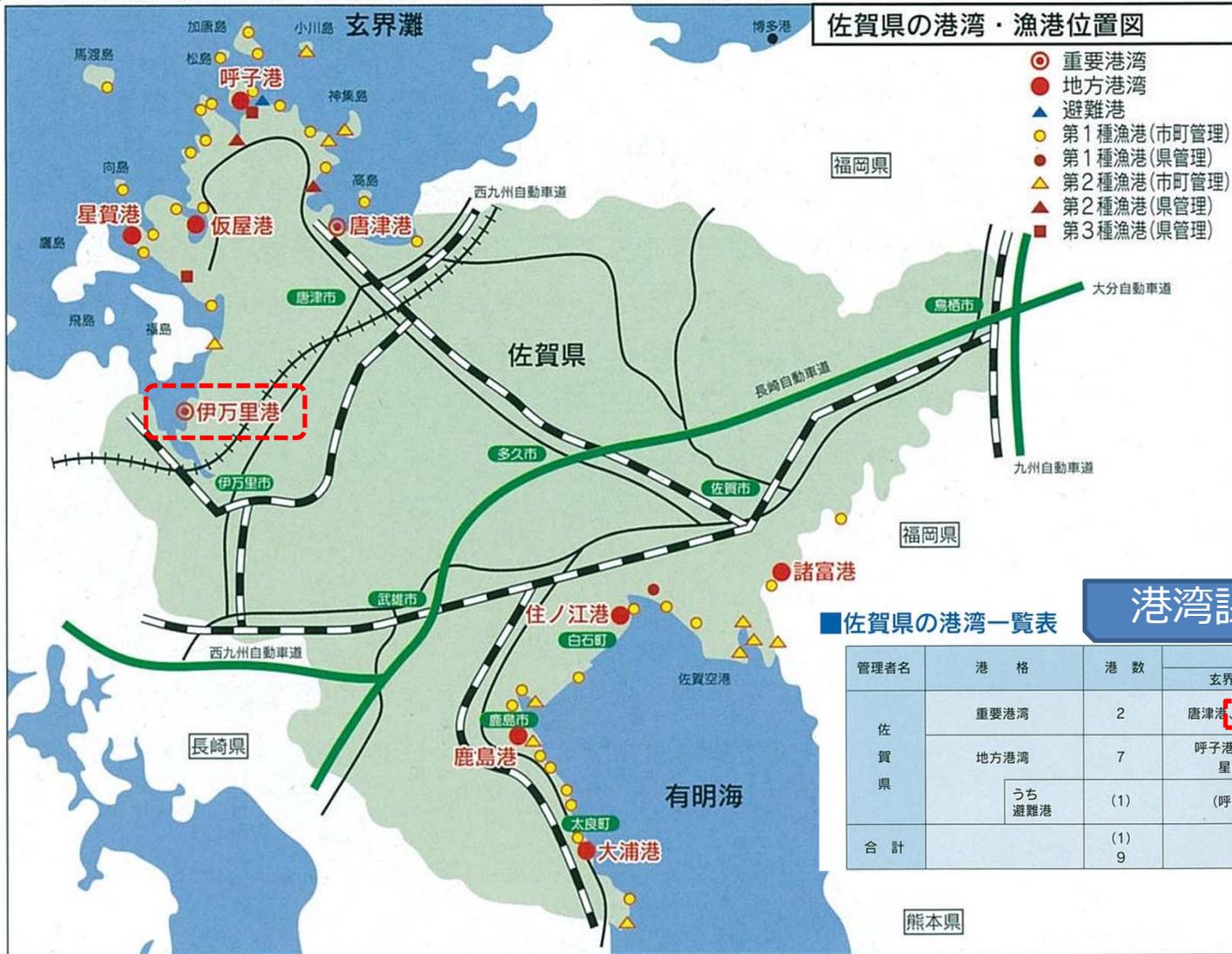
- ・伊万里港廃棄物海面処分場整備事業(浦ノ崎地区)



佐賀県港湾課
(H23.10)



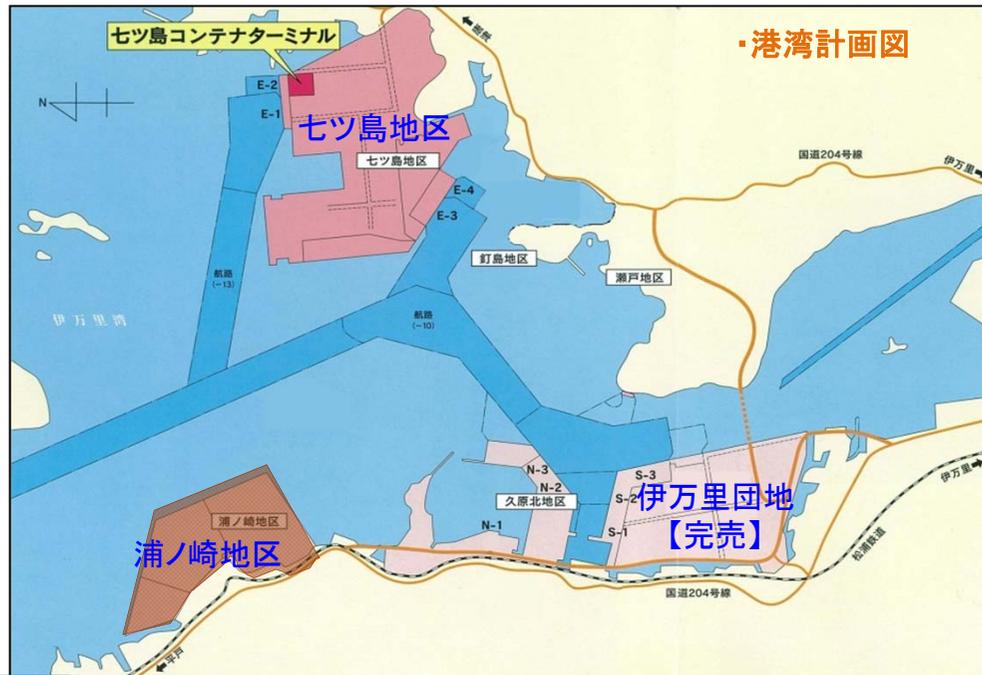
1.佐賀県の港湾



港湾課担当

2.伊万里港の概要

・周囲を半島や島に囲まれた天然の良港



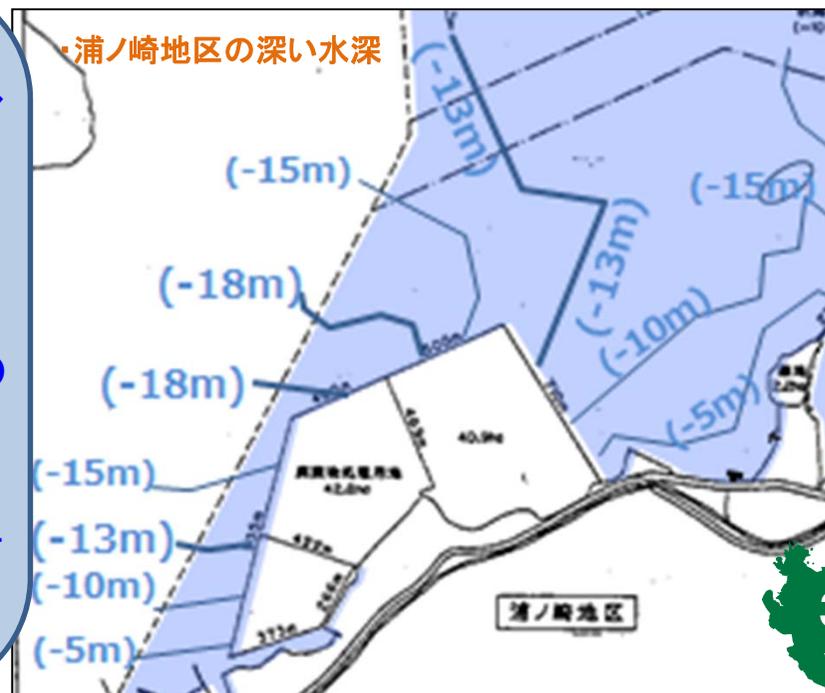
伊万里港は、周囲を東松浦・北松浦半島や福島に囲まれて湾奥に位置するため、静穏で、水深が深い**天然の良港**で、

昭和26年に**重要港湾**の指定を受け、平成22年には**重点港湾**に選定されています。

また、セツ島地区では2008年にコンテナ取扱量が国内で103港ある重要港湾の中**4位**の実績や、

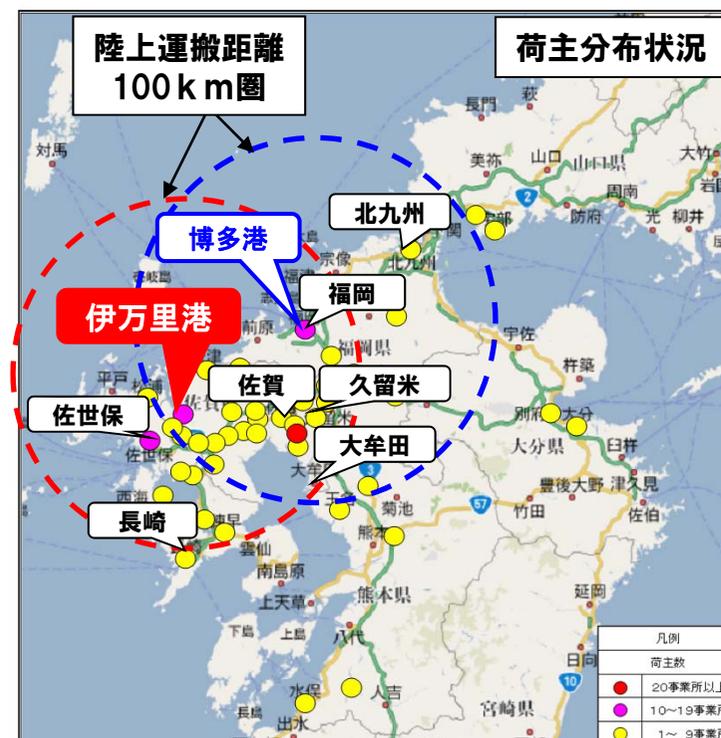
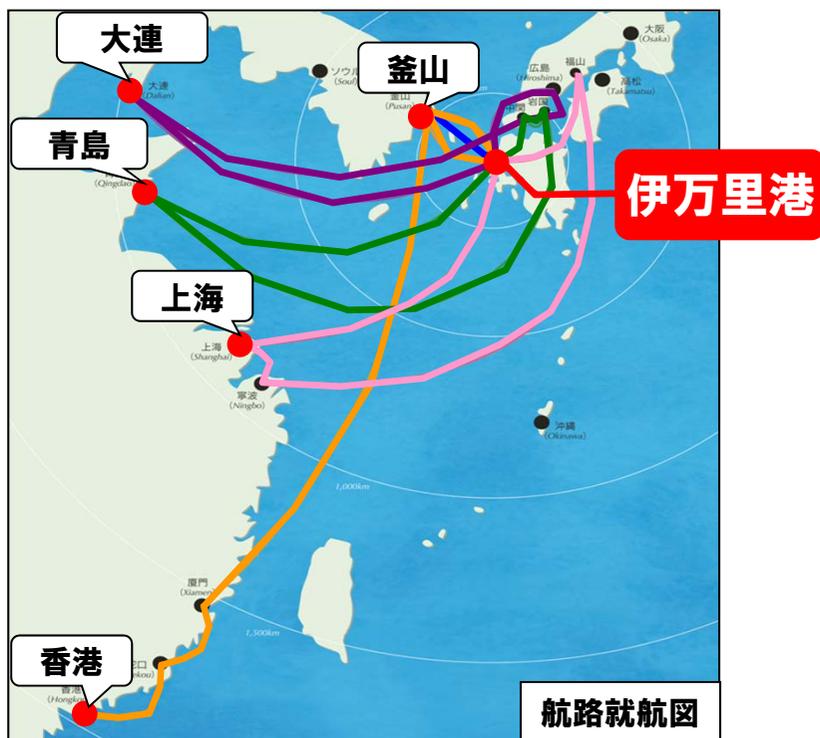
工業用地として伊万里団地が**完売**、セツ島工業団地が約80%売却済みの状態で、浦ノ崎地区の早急な埋立・利用が望まれています。

※重点港湾・新規の直轄港湾整備事業に着手対象となる港湾



伊万里港概況(東アジア地域との海上貿易拠点)

- ①コンテナ取扱量が重要港湾103港中**第4位**(2008年)
- ②定期国際コンテナ航路**5航路**(釜山、上海、大連、青島、香港)

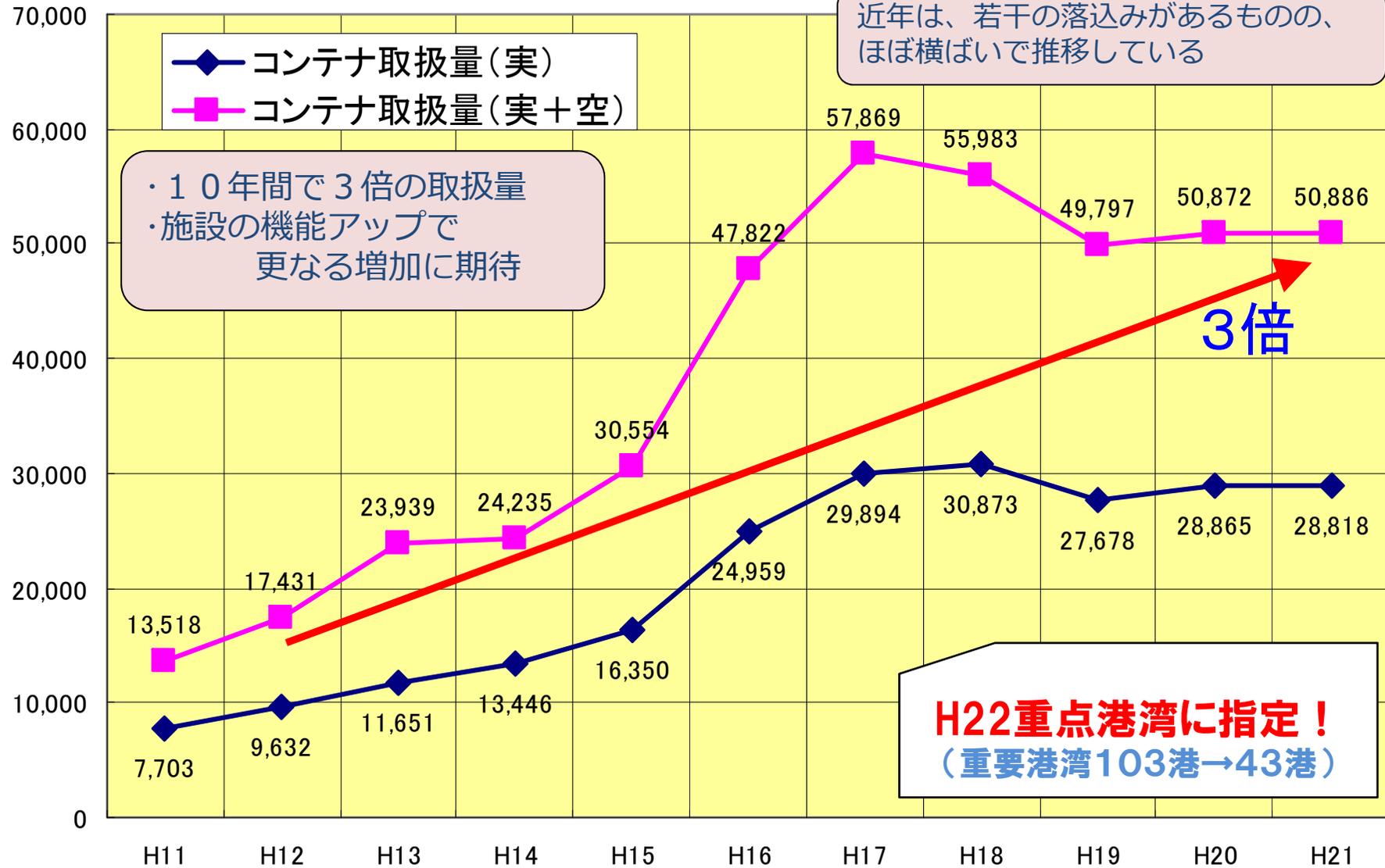


- ③静穏で水深が深い(-13m~-18m)天然の良港。漁業権の問題がなく開発が容易。
- ④九州北西部の中心部に位置する。【勢力圏(佐賀、長崎、福岡南部、熊本北部)】



伊万里港(七ツ島地区) コンテナ貨物取扱量の推移

TEU



・10年間で3倍の取扱量
 ・施設の機能アップで
 更なる増加に期待

近年は、若干の落込みがあるものの、
 ほぼ横ばいで推移している

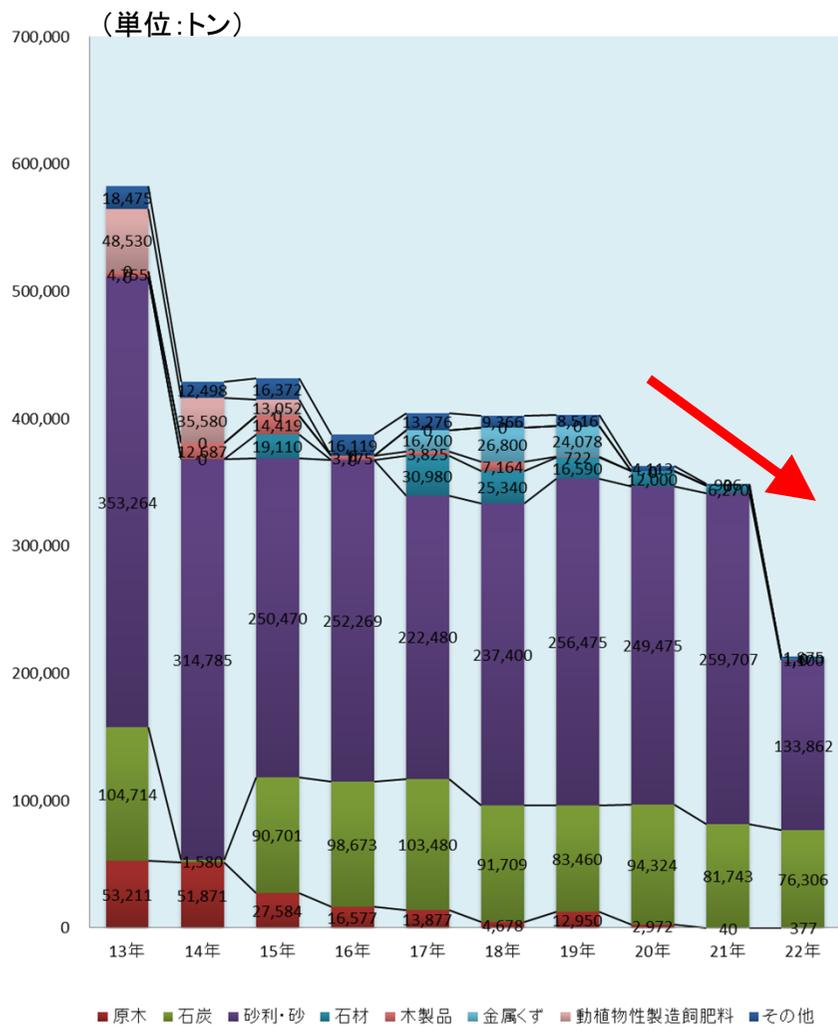
H22重点港湾に指定!
 (重要港湾103港→43港)

- 釜山航路
- 大連航路
- 華南(香港、釜山)
- 上海航路
- 青島航路

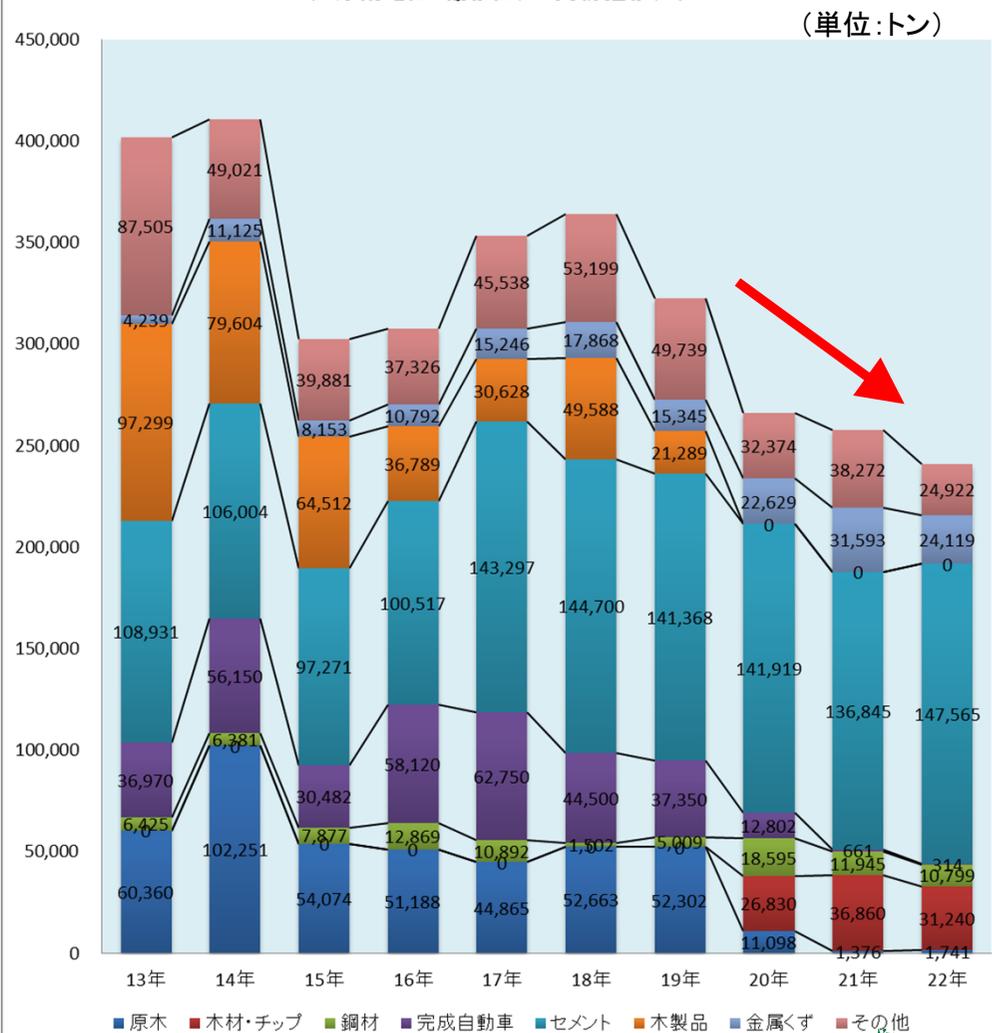


伊万里港(久原地区) 貨物取扱量の推移

久原北地区 輸移出入 貨物推移グラフ



久原南地区 輸移出入 貨物推移グラフ



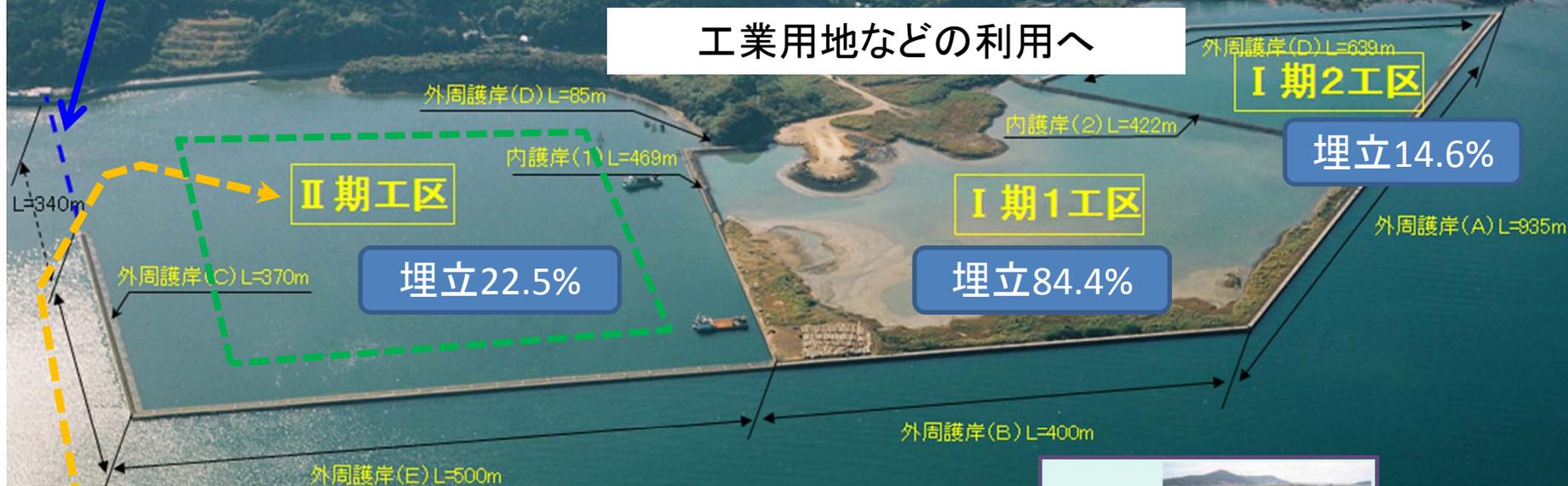
全体的に減少の傾向があり、特に砂利・砂、原木などの減少が大きい状態



伊万里港廃棄物海面処分場整備事業(浦ノ崎地区)

土運船による浚渫土砂搬入のため開口
今後、浚渫工事進捗に合わせ、護岸工事再開

工業用地などの利用へ



撮影:平成19年11月

4.事業の継続について

事業の必要性

- ・ 港湾計画を基に他事業で航路・泊地の浚渫を継続中であり、今後も大量の土砂等が発生

- ・ 土砂処分地の確保

総費用：C=554億円
総便益：B=745億円
費用便益比：B/C=1.3

事業の継続が必要